

第一次世界大戦 再考 100年後の日本で考える

RETHINKING THE FIRST WORLD WAR IN JAPAN

日時 | 2014年1月12日(日)・13日(月・祝)

会場 | 京都大学時計台記念館 国際交流ホール

★1月12日(日) 13:00~17:40

山室信一 Shin'ichi Yamamuro

アジア史における第一次世界大戦

討論者: ヤン・シュミット Jan Schmidt

ジョン・ホーン John Horne

第一次世界大戦と戦後の暴力: 「野蛮化」再考

討論者: 伊藤順二 Junji Ito

ゲルハルト・ヒルシュフェルト Gerhard Hirschfeld

ナチズムと第一次世界大戦の記憶

討論者: 藤原辰史 Tatsushi Fujihara

全体討論

* 終了後、懇親会(有料)

★1月13日(月・祝) 13:00~17:40

アネット・ベッケル Annette Becker

戦時において芸術家・著述家であること

討論者: 岡田暁生 Akeo Okada

オリヴァー・ヤンツ Oliver Janz

グローバル/トランスナショナルな第一次世界大戦研究:

オンライン事典プロジェクトに寄せて

討論者: 早瀬晋三 Shinzo Hayase

ジェイ・ウィンター Jay Winter

第一次世界大戦再考: 100年の後に

討論者: 小関 隆 Takashi Koseki

全体討論

使用言語: 英語(通訳なし)、日本語

事前登録制(登録無料、先着順、下記HPにて受付)

http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/ww1_20140112_13.htm

主催 | 京都大学人文科学研究所、同研究所共同研究班「第一次世界大戦の総合的研究」

共催 | 「第一次世界大戦と現代世界の変貌についての総合的研究」(科研費・基盤A)

連絡先 | 事務局(藤井俊之) Tel.075-753-7092 fjit@zinbun.kyoto-u.ac.jp



第一次世界大戦再考 100年後の日本で考える



日本を含め、文字通りグローバルな規模で大きな衝撃を及ぼした第一次世界大戦は、「現代世界」の起点になる出来事と評されます。開戦からまもなく100年になろうとする今、私たちは大戦の歴史的意義をどのように受けとめるべきか、近年の大戦研究を牽引してきた代表的な歴史家たちとともに、日本という場で改めて考える機会をもちたいと思います。

山室信一

◎京都大学人文科学研究所教授

主な著作

▶『複合戦争と総力戦の断層—日本にとっての第一次世界大戦』(人文書院、2011) ▶『日露戦争の世紀—連鎖視点から見る日本と世界』(岩波新書、2005) ▶『キメラ—満洲国の肖像 増補版』(中公新書、2004)

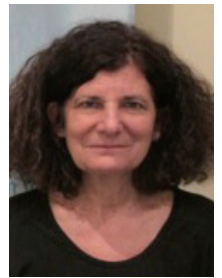


Annette Becker

◎パリ第十大学教授

主な著作

▶ *Biographie de guerre de Guillaume Apollinaire 1914-1918-2009* (Paris 2009) ▶ *Les cicatrices rouges, 14-18, France et Belgique occupées* (Paris 2010) ▶ *La Grande Guerre à hauteur d'œil, 1914-2014, to be published.*



John Horne

◎ダブリン大学トリニティ・カレッジ教授

主な著作

▶ (ed.), *War in Peace. Paramilitary Violence in Europe after the Great War* (Oxford 2012), with Robert Gerwarth ▶ (ed.), *A Companion to World War I* (Chichester 2010) ▶ *German Atrocities in 1914: A History of Denial* (London & New Haven 2001), with Alan Kramer.



Oliver Janz

◎ベルリン自由大学教授

主な著作

▶ *Bürger besonderer Art. Evangelische Pfarrer in Preußen 1850-1914* (Berlin 1994) ▶ (ed.), *Transnationale Geschichte* (Göttingen 2006), with G. Budde and Sebastian Conrad ▶ *Das symbolische Kapital der Trauer. Nation, Religion und Familie im italienischen Gefallenenkult des Ersten Weltkriegs* (Tübingen 2009).



Gerhard Hirschfeld

◎シュトゥットガルト大学教授

主な著作

▶ (ed.), *Encyclopedia of the First World War* with Gerd Krumeich and Irina Renz (Leiden 2012) ▶ (ed.), *Scorched Earth: The Germans on the Somme 1914-1918* (Barnsley 2009) with Gerd Krumeich and Irina Renz ▶ *Deutschland im Ersten Weltkrieg, to be published.*

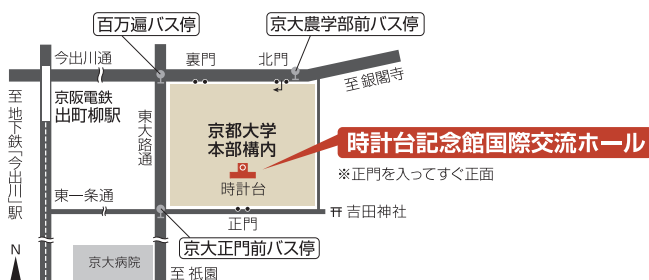
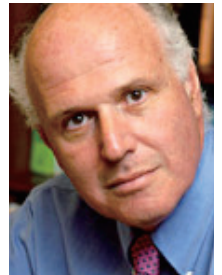


Jay Winter

◎イェール大学教授

主な著作

▶ *Sites of Memory, Sites of Mourning* (Cambridge 1995) ▶ *Remembering War* (New Haven & London 2006) ▶ (ed.), *The Legacy of the Great War* (Columbia & London 2009).



●市バス 17、203系統「百万遍」下車、裏門から南へ徒歩4分 / 31、201、206系統「京大正門前」下車、東へ徒歩3分
●京阪電車「出町柳」下車、東へ徒歩15分
*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

